

# 議 会 だ よ り

清水町

2014年(平成26年)11月

No.139

■発行 北海道清水町議会  
 ■編集 清水町議会運営委員会  
 〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目  
 ☎62-3317 FAX62-5160

## 平成25年度各会計の決算を認定 補助金の適正な執行を要望

第7回定例会

第7回定例会は9月16日から26日までの11日間を会期として開かれました。町からは行政報告が2件示されたほか、物品の取得、人事案件、補正予算、決算の認定、条例の一部改正等の提案があり、審議の結果、全て原案のとおり可決しました。また、一般質問では7名の議員が登壇しました。

**平** 成25年度の一般会計を含む8会計の歳入

歳出決算について、9月22日と24日の本会議で審議を行い、採決において、一般会計と後期高齢者医療保険特別会計は賛成多数で認定、他6会計は全会一致で認定しました。

平成25年度の大きな事業としては、清水小学校大規模改修事業、特別養護老人ホーム改築整備助成事業、町営住宅建設事業、農山漁村活性化プロジェクト事業などがあげられます。

審議では、各議員から、各事務事業について、当初の目的達成のため、どのように効果的な予算執行がされたかについて質

疑がありました。

一般会計歳出の商工費の審議では、議員から交流人口拡大支援事業補助金について、補助団体の収支決算書と事業報告書の資料を要求、説明を求めました。また、監査委員から提出のあった決算審査意見書の中に、「補助金交付要綱にそぐわない補助金の交付があり、公正な行政運営を行う中、補助金交付要綱等に基づいた執行を望む」との指摘もあったことから、質疑が数多くありました。採決の結果、平成25年度一般会計は賛成六、反対四で認定としました。各議員の賛否と討論は以下のとおりです。

| 賛否の公表 | 議員名            | 高橋政悦 | 佐藤幸一 | 木村好孝 | 山岸政彦 | 原 紀夫 | 西山輝和 | 中島里司 | 奥秋康子 | 安田 薫 | 口田邦男 |
|-------|----------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
|       | 平成25年度一般会計決算認定 |      | ○    | ○    | ×    | ○    | ×    | ×    | ○    | ×    | ○    |

※加来良明議員は議長のため採決に加わっていません。○：賛成 ×：反対

### 平成25年度一般会計決算認定における討論 (要約)

**反対** ●奥秋康子議員

交流人口拡大支援事業補助金の会計処理が不適切。事業効果額は、参加選手の昼食弁当88個のみであり、備品の購入は町内業者を一切利用していない。見切り発車をした結果、町民に損害を与えたという事は紛れもない事実であり反対する。

**反対** ●西山輝和議員

交流人口拡大支援事業補助金は、監査委員の意見書の中で要綱にそぐわないと指摘を受けた。会計処理に問題があり、公正な運営を行っているとは認めがたい。要綱に従わない補助金の使用は町民の理解が得られないものと考え反対する。

**反対** ●木村好孝議員

交流人口拡大支援事業補助金について、代表監査委員から、実績報告書、領収書、備品購入、車の借上料等が、補助金としてそぐわないとの指摘があり、町政のチェック機能を町民から付託されている議員として、これを厳粛に受け止め反対する。

**反対** ●原 紀夫議員

監査委員から指摘されたことは残念。町民に対し、説明がつかない。事業は進行中であり、事後のことで意見が出ることはあつてはならない。残された半年以上の事業期間の中で、実現に向けて最大限の努力をする姿勢が必要。認定に反対する。

**賛成** ●山岸政彦議員

予算に計上された事業は順調に執行されており、平成14年度から行われている行財政改革の取組みにより、実質公債費比率や将来負担比率も改善されている。基金残高も6年連続で増加しており、一定の成果があがっているものと考え賛成する。

**賛成** ●中島里司議員

監査委員の意見書としての確な指摘があつた。今後、その指摘を生かしながら、その指摘を生かしたい。新しい事業は、議会でも慎重に数多く審議して可決したこと。補助金を無駄にしない活動をし、成功していたら大きく、大きな期待をもって賛成する。